

|           |   |     |  |    |    |
|-----------|---|-----|--|----|----|
| 科目名       | 哲学  | 単位数 | 2単位  | 学期 | 前期 |
| 担当教員      | 阿部 ふく子  |     | 実務経験の有無  |    | ×  |
| 科目区分      | カリキュラムマップを表示する  |     | 関連するディプロマポリシー  |    |    |
| ナンバリング    | X-01-A-1-110008   |     | 国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること |    |    |
| 授業の目的     | <p>西洋哲学の基本的な主題と思考方法をいくつか取り上げて講義します。講義内容は主題別の構成をとりませんが、哲学的な背景についても適宜説明を補いながら進めたいと思います。〈自分自身で哲学的に考えること〉・〈哲学の知識を身につけること〉という二つのアプローチを通じて、論理的・批判的思考力を養うとともに洞察力や解釈力を鍛え、個性性と普遍性に豊かに開かれた精神を形成してゆくことをめざします。</p> <p>当科目の内容は下記のディプロマポリシーと関連しています。<br/>         〈グローバルな課題への問題意識と国際教養を体得すること〉<br/>         〈自主的、計画的に情報を集め、考察し、自らの見解を加えて記述し発表できること〉</p> |     |  |    |    |
| 学修到達目標    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・哲学の基本的な用語、主要な問い、議論を理解し説明することができる。</li> <li>・上記の理解を、個人的・日常的な所感や出来事にも柔軟に適用し、自ら哲学的な問いを立て、見解を述べることができる。</li> </ul>  |     |  |    |    |
| 実務経験との関連性 |   |     |  |    |    |

| 授業計画 |                            |
|------|----------------------------|
| 第1回  | 哲学的問いの射程                   |
| 第2回  | 哲学と常識はどう違うのか①—ソクラテスの〈無知の知〉 |
| 第3回  | 哲学と常識はどう違うのか②—プラトンの〈洞窟の比喩〉 |

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 第4回  | 哲学と常識はどう違うのか③—ヘーゲルの弁証法       |
| 第5回  | 幸福・善とは何か①—アリストテレスの生          |
| 第6回  | 幸福・善とは何か②—功利主義               |
| 第7回  | 幸福・善とは何か③—カントの義務倫理学          |
| 第8回  | 何かを認識するとはどういうことか①：デカルトの方法的懐疑 |
| 第9回  | 何かを認識するとはどういうことか③：カントの超越論的哲学 |
| 第10回 | 何かを認識するとはどういうことか③：カントの超越論的哲学 |
| 第11回 | 私とは何か①—フィヒテの自我論              |
| 第12回 | 私とは何か②—実存哲学                  |
| 第13回 | 私とは何か③—フロイトの欲望論              |

|      |             |
|------|-------------|
| 第14回 | 価値とは何か—ニーチェ |
| 第15回 | まとめ         |
| 第16回 | 試験          |

| 授業時間外の学習  |                |
|-----------|----------------|
| 【予習】時間・内容 | 2時間。教科書の予習。    |
| 【復習】時間・内容 | 2時間。講義配布資料の復習。 |

| 成績評価      |   |
|-----------|---|
| 評価基準・方法   | 毎回課されるコメントペーパー（30%）、および記述式の期末試験（70%）による。<br>コメントペーパーは各回の講義内容に関連する簡単な質問に答えてもらう方式です。提出回数ではなく内容で評価します。 |
| フィードバック方法 | 試験後に全体的な講評を発表する。  |

| アクティブラーニング |   |
|------------|---|
| 実施の有無      | ×   |
| 実施内容       |   |
| 教科書/参考書    | <p>貴 成人『図説・標準 哲学史』、新書館、2008年 (1,575円)<br/>           (※講義はPower Pointのレジュメに即して進めますが、哲学史全体が概観でき、予習・復習にも役立つ資料として上記のテキストも適宜参照しますので、購入のうえ授業に臨んでください。)</p> |
| 受講上の留意点等   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の講義で配布した資料にはすべて目を通すこと。</li> <li>・講義時に紹介する原典や参考文献等にも積極的に手を伸ばし、自主的に学習を進めることが望ましい。</li> </ul>                  |
| JABEE      |   |